

浜松市障がい者自立支援協議会調整会議会議録

1 開催日時 令和2年3月4日(水) 午前10時から午前11時10分

2 開催場所 浜松市役所 5階51会議室

3 出席状況

区自立支援連絡会名	所属	出席者氏名	
中区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所アグネス	本宮 早奈映	
	中区社会福祉課	佐藤 真輝	
東区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所だんだん	平野 明臣	
	東区社会福祉課	濱埜 剛	
西区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 まど	鈴木 宏幸	
	西区社会福祉課	安間 俊弘	
南区自立支援連絡会	障がい者相談支援センター 浜松南	後藤 翔一朗	
	南区社会福祉課	欠 席	
北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 信生	小楠 絢子	
	北区社会福祉課	梶田 和彦	
浜北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 ぼるた	間木 義聡	
	浜北区社会福祉課	金原 真弓	
天竜区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 てんりゅう	今田 将晴	
	天竜区社会福祉課	内山 敦子	
オブザーバー	障がい者相談支援事業所 シグナル	尾関 ゆかり	
事務局	障がい者基幹相談支援センター		
		雨宮 寛	
		岸 直樹	
	障害保健福祉課	課長	田中 孝太郎
		課長補佐	久保田 尚宏
		精神保健グループ長	松下 望
生活支援第2グループ長		柴田 多美子	
	生活支援第2グループ	山内 愛美	

4 議事内容

- (1) 専門部会報告
- (2) 市協議会新体制報告
- (3) その他

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援第2グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 専門部会報告

資料1を元に説明

退院して地域で暮らそう部会

担当G長より資料を元に活動状況について説明

<意見>

・アウトリーチワーキングは来年度どのように活動していくのか。

⇒(担当G長)来年度の活動内容を決めるにあたり、未受診者や治療中断者について実態調査を行っている。

こども専門部会

担当より資料を元に第2回専門部会について報告

<意見>

・相談支援事業所だけでなく放課後等デイサービス等の事業所も、サービスの必要性や量について考えていかなくていけないのではないかと。

⇒(担当より)アセスメントシートのワーキングには、児童発達支援や放課後等デイサービスにも入ってもらう予定。また、支給決定をしている区社会福祉課にもメンバーに入ってもらう。

※ワーキングの区代表者については中区が対応することで各区了承

・教育との連携においてサポートかけはしシートの好事例の共有以外に、検討しているものはあるか。

⇒(担当より)サポートかけはしシートの説明や利用の流れなどまとめたポスターやチラシのようなものを作成していきたい。

重心児・者及び医療的ケア専門部会

担当より資料を元に第3回専門部会について報告

(2) 市協議会新体制報告

・協議会体制図を元に説明

【変更点について】

①市全体会に市の施設である「発達医療総合福祉センター」と「浜松市根洗学園」を追加

②市全体会出席者として教育委員会を追加

③障がい者だけでなく、障がい児についての支援も検討していくことがわかるように専門部会の説明文に「障がい児、障がい者を通じて」と記載。

【地域体制強化共同加算について】

資料を元に、加算の流れについて説明

<意見>

・本加算は月1回、支援関係者へ分配できるとなっている。利用したいサービスが施策化されるまでの間、この加算を利用してサービスを利用することも考えたい。

⇒(事務局より)本加算は、サービス利用に補填するための加算ではない。1つの課題につき、1回の加算とする。同じ対象者で別の課題が出てくれば、別課題として加算をあげてもらふことになる。

・エリアで上げた課題は、企画会議に上がってからの流れはどうなるのか。

⇒(事務局より)上がってきた課題については、専門部会で検討を進める、他の協議会等の意見を聞くなどの対応をすることになる。

【教育関係の会議参加について】

- ・市全体会には校長会代表が出席予定。エリアには、教育委員会から選出された中学校、小学校の代表が1名ずつエリア部会に参加する。
- ・各エリアの研修会等の参加については、障害保健福祉課から校長会へ一括で出席を依頼するため、各エリアから学校へ連絡をすることは控えてもらいたい。

<意見>

- ・研修会だけでなく、事例検討会出席についても校長会を通さなくてはいけないのか。
- ・現在、区から学校へ部会や研修等の出席を直接依頼している。区と学校とのつながりができているのに、校長会を通す必要があるのか。

⇒（事務局）基本的にはエリアの活動が始まる7月までには、各エリアの活動予定等をまとめて障害保健福祉課から校長会へ参加について依頼していきたい。校長会、学校への連絡の流れについては課内で整理をし、改めて報告する。

- ・特別支援学校やSSWについてはどうすれば良いか。

⇒（事務局）特別支援学校、SSWは今まで通り参加してもらえば良い。

【専門部会について】

- ・相談支援部会は相談ワーキングを進めていく、権利擁護部会は差別や虐待についてのワーキングを立ち上げていく予定であるため、政策調整Gが対応していくことになる。地域生活部会はこどもワーキングを立ち上げ、まずはアセスメントツールについて検討を進める。

(3) その他

- ・来年度事業について資料を元に説明

<意見>

- ・新規事業については、自立支援協議会専門部会の成果としての捉えで良いか。もしそうなのであれば、自立支援協議会の成果として発信していく方が良い。

<連絡事項>

- ・次回企画会議は、5月27日14時から。
参加者は、委託相談センター5ヶ所、各区社会福祉課G長。